

みなみかぜ

令和5年度学校教育目標

「ふるさとと人を愛し、自らの夢に向かって、力強く歩み続ける子どもの育成」

5年生の水俣病学習で講話をしていただきました



10月17日(火)に、5年生の水俣病学習として、胎児性水俣病の患者さんの坂本しのぶさんに来校していただきお話を聞くことができました。

この講話には、本校の5年生だけでなく、菊陽南小学校の5年生と本校の6年生も参加しました。

これまで自分が受けた差別やどんな思いで普段の生活をしているのか、自分の言葉でしっかりと子どもたちに話していただきました。

いろんな点で考えさせられるお話が多かったのですが、中でもしのぶさんの歩き方を真似して馬鹿にしているような子どもに出会った時の話は学校としても考えさせられるお話でした。しのぶさんは、真似をした子どもたちを叱ろうとはしませんでした。自分のことを知らないから真似をするのだろう。もっと自分のことを知ってもらいたい。そのためにも子どもたちと交流する時間があるのではないかと。実際にその小学校に出かけていき、自分のことを知ってもらう交流を行ったそうです。

知らないことは誰しも不安に思ったりします。そして、差別や偏見につながっていきます。だからこそ、お互いのことを正しく知り合っていくのは、改めてとても大切なことだと考えさせられました。

他にも子どもたちに知ってもらいたいこととしていくつかお話をされました。

1つは、「水俣病は終わっていない。」ということです。新しい患者が発生することはなくなりましたが、今も水俣病で苦しんでいる多くの患者がいること、そして、裁判が続いていることなど、私たちが忘れてはならないことだと思います。

他にも、「水俣病をしっかりと学んでほしい。」「自分を大切にしてほしい。」「友だちを大切にしてほしい。」「自然を大切にしてほしい。人間として。」等、たくさんのメッセージがありました。

子どもたちが真剣に話を聞いている姿や質問をしている姿からは、一人一人がしっかりとメッセージを受け取っていることが感じられました。また1つ子どもたちの心の中に大事なものが育ったことを感じた2時間でした。

